

特記仕様書

委託番号 令和元年度 設委第2号
委託名 滋賀県立大学環境管理センター水処理設備改修設計委託
委託場所 彦根市八坂町2500

第1条 仕様書の適用範囲

本業務の履行にあたっては、本特記仕様書によるほか、「土木設計業務等共通仕様書(平成27年3月滋賀県土木交通部)」(以下「共通仕様書」という。)によるものとする。

第2条 履行期間

本業務の履行期間は、契約日の翌日から令和2年3月27日までとする。

業務概要

1. 水処理設備詳細設計

1-1. 業務目的

滋賀県立大学環境管理センター水処理設備および人間看護学部棟食堂排水処理設備改修の詳細設計を本業務の目的とする。

1-2. 業務範囲

滋賀県立大学環境管理センター水処理設備および人間看護学部棟食堂排水処理設備改修の詳細設計を業務範囲とする。

1-3. 対象施設

1. 実験排水処理プラント(土木・機械・電気)

- ①実験排水ポンプピット(ポンプ、計装のみ): 50 m³(更新設計)
- ②調整槽(ポンプ、計装のみ): 69.7 m³(更新設計)
- ③凝集沈殿処理設備: 最大 57.61 m³/日(更新設計)
- ④ろ過原水槽(ポンプ、計装のみ): 13.9 m³(更新設計)
- ⑤砂ろ過活性炭処理設備: 最大 57.61 m³/日(更新設計)
- ⑥中間槽(ポンプ、計装のみ): 13.9 m³(更新設計)
- ⑦キレート処理設備: 50 m³/日(更新設計)
- ⑧水質監視槽(ポンプ、計装のみ): 12.0 m³(更新設計)
- ⑨非常用循環ポンプ: 144 m³/min(新設設計)
- ⑩場内配管: φ50mm L=15m(新設設計)

2. 学生食堂排水処理プラント(土木・機械・電気)

- ①学生食堂排水ポンプピット(ポンプ、計装のみ): 4.7 m³(改良設計)
- ②食堂排水調整槽: 52.5 m³(新設設計)
- ③加圧浮上装置: 最大 34.11 m³/日(新設設計)
- ④水質監視槽(ポンプ、計装のみ): 18.2 m³(改良設計)
- ⑤場内配管 1: 食堂排水ポンプピット→放流調整槽 φ50mm L=20m(新設設計)
- ⑥場内配管 2: 食堂排水ポンプピット→食堂排水調整槽 φ50mm L=50m(新設設計)
- ⑦場内配管 3: 加圧浮上装置→汚泥貯留槽 φ80mm L=10m(新設設計)
- ⑧放流調整槽(ポンプ、計装のみ): 16.5 m³(新設設計)

3. 人間看護学部棟食堂排水処理プラント(土木・機械・電気)

- ①油水分離槽: 最大 6.0 m³/日(新設設計)

- ②水質監視槽:0.8 m³(新設設計)
- ③場内配管: φ100mm L=15m(新設設計)

1-4 業務内容.

1-3 の水処理設備について最適な設備機器を選定し、下記作業を行うこと。

機械設計・電気設計

作業項目		作業内容
設計計画	設計方針	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の目的・主旨の把握 ・特記仕様書に示す業務内容の確認 ・業務概要、実施方針、工程計画、人員配置計画の決定 ・使用する主な図書及び基準の確認 ・上記に関する作業計画書の作成
	設計条件の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・設計対象施設に関する基本設計の内容確認 ・既設撤去の設計条件の確認 ・仮設構造物(配管等の切回し、代替仮設設備の設置等)の設計条件の確認 ・設備容量計算(機器能力計算、電動機出力計算、機器荷重計算等)の設計条件の確認
計算機能		<ul style="list-style-type: none"> ・設計計画に基づく設備容量計算書(機器能力計算書、電動機出力計算書、機器荷重計算書等)の作成 ・設計計画に基づく施工手順書、仮設構造物に関わる各種計算書の作成
設計図作成		<ul style="list-style-type: none"> ・計算により定められた諸条件に基づく、工事特記仕様書、見積仕様書、フローシート、全体配置平面図、配置平面図、配置断面図、配管全体図、水位関係図及び箱抜参考図等の作成
数量計算		<ul style="list-style-type: none"> ・決定した設計図に対して、数量算出基準に基づく数量算出及び工事設計書(金抜設計書)作成
照査		<ul style="list-style-type: none"> ・設計計画の妥当性(設計方針、設計条件等)の照査 ・各種計算書の適切性に関する照査 ・各種設計図の適切性に関する照査 ・各種計算書と設計図の整合性に関する照査

土木設計

作業項目		作業内容
設計計画	設計方針	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の目的・主旨の把握 ・特記仕様書に示す業務内容の確認 ・業務概要、実施方針、工程計画、人員配置計画の決定 ・使用する主な図書及び基準の確認 ・上記に関する作業計画書の作成
	設計条件の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・設計対象施設に関する基本設計の内容確認 ・既設撤去の設計条件の確認
計算機能		<ul style="list-style-type: none"> ・設計計画に基づく施工手順書、構造物に関わる各種計算書の作成
設計図作成		<ul style="list-style-type: none"> ・計算により定められた諸条件に基づく、工事特記仕様書、見積仕様書、全体平面図、断面図等の作成
数量計算		<ul style="list-style-type: none"> ・決定した設計図に対して、数量算出基準に基づく数量算出及び工事設計書(金抜設計書)作成

照 査	<ul style="list-style-type: none"> ・設計計画の妥当性(設計方針、設計条件等)の照査 ・各種計算書の適切性に関する照査 ・各種設計図の適切性に関する照査 ・各種計算書と設計図の整合性に関する照査
-----	--

2. その他の特記事項

- 1) 各種工事のための概算工事費を算出すること。
- 2) 対象機器は別紙水処理設備改修フローのとおりとする。ただし、業務着手時に対象範囲については、監督職員の確認を得るものとする。
- 3) 成果品納入後にあっても成果品に誤りがある場合は、直ちに訂正するものとする。
- 4) 業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議のうえ決定するものとする。
- 5) 打合せ、現地踏査は、機械設備・電気設備を想定している。
- 6) 提出する成果品は以下とする。

報告書・・・2部

検討書

各種計算書(数量計算書、容量計算書など)

設計図

現地調査結果(現場写真など)

見積仕様書

その他必要な資料

電子データ(CD-R)・・・2部